

授業科目	簿記入門				単位	2				
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	EN21403J			
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP4-3					
担当教員	梅田 勝利									
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本授業は、実務家教員の授業として、学生が社会的・職業的自立を図れるように、自身の企業で簿記作業を行った体験に基づき、ビジネスパーソンにとって必要不可欠である、複式簿記の知識の習得を目的とする。</p> <p>複式簿記の構造、財務諸表の内容と作成方法、期中取引の処理について理解する。</p> <p>前半では、複式簿記の構造、財務諸表の内容、勘定科目の内容について説明する。これによって、複式簿記の構造に関する総論的・各論的な基本的知識を得ることができる。</p> <p>後半では、期中取引の処理と財務諸表の作成方法について説明する。これによって、財務諸表の作成ができるとともに、複式簿記の構造について理解することができる。</p> <p>また、日商簿記検定初級の出題範囲を網羅していることから、それについて解答することができる。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べるすることができる。 3. 財務諸表について、正確に作成することができる。 4. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に行うことができる。 5. 簿記一巡の手続について、説明することができる。 									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100			
知識・理解 (DP1-1)										
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)										
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)	50	50					100			
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べる ことができる。 3. 財務諸表について、正確に作成することができる。 4. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に 行うことができる。 5. 簿記一巡の手続について、説明することができる。 					<ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の構造について、説明することができる。 2. 会計処理のルールとその考え方について、具体的に述べる ことができる。 3. 期中取引に関する具体的な会計処理について、正確に行う ことができる。 					
授業計画										

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	ガイダンス・シラバスの説明	講義	シラバスを熟読する。	30
2	簿記の基礎・勘定科目の内容	講義	予習:テキスト p.2-23 を読む。 復習:勘定科目を覚える。	30・60
3	簿記の基礎・財務諸表の内容	講義 小テスト	予習:テキスト p.2-23 を読む。 復習:簿記の 5 要素と貸借対照表、 損益計算書との関係を覚える。	30・60
4	仕訳と転記・仕訳の仕方	講義	予習:テキスト p.2-23 を読む。 復習:仕訳をできるようにする。	30・60
5	仕訳と転記・転記の仕方	講義	予習:テキスト p.2-23 を読む。 復習:転記をできるようにする。	30・60
6	商品売買・三分法と分記法による会計処理	講義 小テスト	予習:テキスト p.24-38 を読む。 復習:2つの会計処理のどちらでも、 仕訳をできるようにする。	30・60
7	商品売買・掛け取引、返品と値引き、諸掛り	講義	予習:テキスト p.24-38 を読む。 復習:テキスト p.39-40 の基本問題を 解く。	30・60
8	現金預金・現金、現金過不足	講義	予習:テキスト p.42-58 を読む。 復習:現金に関する仕訳をできるようにする。	30・60
9	現金預金・当座預金、当座借越、小口現金	講義 小テスト	予習:テキスト p.42-58 を読む。 復習:テキスト p.59-60 の基本問題を 解く。	30・60
10	手形・約束手形	講義	予習:テキスト p.62-70 を読む。 復習:約束手形に関する仕訳をできるようにする。	30・60
11	手形・裏書、割引	講義	予習:テキスト p.62-70 を読む。 復習:テキスト p.71-72 の基本問題を 解く。	30・60
12	有価証券と固定資産・有価証券	講義 小テスト	予習:テキスト p.74-83 を読む。 復習:有価証券に関する仕訳をできるようにする。	30・60

13	有価証券と固定資産・固定資産	講義	予習:テキスト p.74-83 を読む。 復習:テキスト p.84-85 の基本問題を解く。	30・60
14	その他の取引・未収入金、貸付金など	講義	予習:テキスト p.86-111 を読む。 復習:その他の取引に関する仕訳をできるようにする。	30・60
15	その他の取引・資本金、訂正仕訳など	講義 小テスト	予習:テキスト p.86-111 を読む。 復習:テキスト p.112-117 の基本問題を解く。	30・60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	複式簿記は、聴講だけでは習得できず、実際に手を動かして、なぜその会計処理をするのかについて、その理由を理解することによって、習得することができる。			
テキスト	滝澤ななみ「みんなが欲しかった簿記の教科書 日商3級 商業簿記 第7版」TAC			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて随時紹介する。			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	次の2点の理解に努め、仕訳をできるようにすること。 1. 勘定科目とその内容 2. 取引要素の結合関係の内容
達成度評価に関するコメント	小テストをすべて受験・解答するとともに、授業中に積極的に参加し、最終到達度として、試験において、複式簿記の構造と期中取引の処理について、解答できるようになれば100点。